新潟市急患診療センターだより

第2号　2016年10月

第2号にあたって

秋も深まり、急患診療センターだより第2号を発行しました。皆さんは、読書の秋、食欲の秋、スポーツの秋のいずれでしょうか。今号では、病気の知識として、これから寒くなると多くなる、インフルエンザ、ウイルス性胃腸炎（乳幼児）を取りあげました。Q&Aのほかに昨年行った窓口アンケート結果を掲載いたしました。最終ページには、診療時間、交通アクセスなどが掲載されていますのでご利用下さい。

病 気 の 知 識

インフルエンザ

- インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。
- 普通の風邪よりも急激に発症し、症状が重いのが特徴です。
- インフルエンザに感染すると、1～5日の潜伏期間の後、38℃以上の高熱や筋肉痛などの全身症状が現れます。
- 健康な人であれば、その症状が3～7日間続いた後、治癒に向かいます。
- 気管支炎や肺炎を併発しやすく、脳炎や心不全になる場合もあります。
- インフルエンザウイルスには強力な感染力があり、いったん流行すると、年齢や性別を問わず、多くの人に短期間で感染が広がります。
- 日本では毎年11月～4月に流行が見られます。

通常時間に病院へ 行く

★受診する場合は、本人、付き添いともマスクを着用して下さい。

【症状】・熱がある　・関節痛　・体がだるい　・のどが痛い
・頭が痛い　・咳が出る　・息が苦しい　・鼻がつまる　・鼻水がでる　など

【診断】
- 診断には臨床症状と共に、インフルエンザウイルスを検出する迅速キットを用います。この際、綿棒を鼻の奥に入れて粘膜をこするため不快に感じますが、ウイルスの検出率を高めるためです。
- ウイルスに感染して時間が経っていない場合は検査結果が陽性にならない場合もあります。
- そのため、発熱などの症状が続く場合は、発症後48時間以内に再検査します

【治療】
- 抗インフルエンザウイルス薬には、「タミフル」や「リレンザ」、「イナビル」などがあります。
- 「タミフル」や「リレンザ」は1日2回内服、もしくは吸入し、5日間の治療期間が必要ですが、「イナビル」は気道に直接作用する吸入薬であり、単回投与で治療が完結します。
- 「タミフル」に関して、因果関係は不明であるものの、10歳以上の未成年患者が服用後に異常行動を発現し、転落などの事故に至った例が報告されているため、この年代の患者には、原則として「タミフル」の使用が差し控えられています。
- 一方「イナビル」は、5歳以上が適切に吸入できると示されていますが、吸入できるならば年齢制限はありません。
- ただし、これらの抗インフルエンザウイルス薬は発病後 48時間以内に服用しないと効果がありません。

急患センター等へ 行く

- 急患診療センターでは休日明けまでの分しか処方できません。
- 休み明けに通常の医療機関を必ず受診して診察をうけてください。
- 他の人に感染する可能性があるため、解熱後も学校や仕事は発症後、5日間は休む必要があります。診断書や許可証は近くの医療機関でもらってください。

ウイルス性胃腸炎（乳幼児）

【ウイルス性胃腸炎とは】

- 突然の嘔吐、水のような下痢（薄い黄色から白色）がみられます。
- ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルスなど、原因が検査で分かることもありますが、いずれも治療は同様です。
- ロタウイルスは乳児期にワクチンを接種することで予防ができます。

【症状】

- 排便痛　・腹痛　・嘔吐　・発熱
- 下痢　・吐き気がする

自宅で様子をみる 待つ

- 下痢が問題ではなく、脱水を防ぐことが肝要です。
- 下痢や嘔吐で失われた塩分と水分を少しずつ与えるイメージで、スプーンなどで根気よくあたえます。
- オーエスワン（OS-1）®、アクアライト®などの経口補水液で水分補給ができれば、その後は乳児では母乳や人工乳、離乳後の幼児であればおかゆなどの炭水化物からはじめ、下痢であってもできるだけ絶食期間を短くするようにします。

【家庭で注意すること】

- 吐物が付着したり汚物の処理による接触感染です。手洗いや吐物汚物の処理が重要です。

【登園・登校の目安】

- 嘔吐がないこと。下痢の回数もおさまり通常の食事がとれるようになれば可能です。

通常時間に病院へ 行く

- 下痢の回数が数回で、元気や食欲がいつもと変わらない様子の場合や、嘔吐があっても２～３度で、その後症状が落ち着き、少しずつ水分等が取れるようになってきて、おしっこも出ている場合は、翌日に「かかりつけ医」等を受診してください。

急患センター等へ 行く

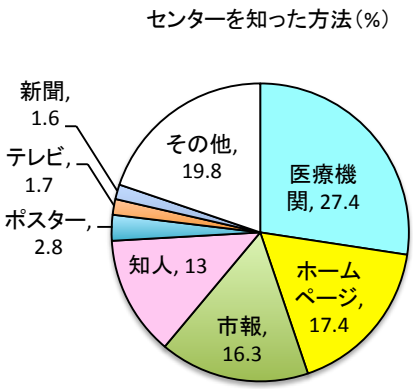
- 吐き続け、口から何も飲めない時。
- 顔色が青ざめ、元気がない時。
- おしっこも出ず、爪を圧迫して戻しても白からピンクにならない時。

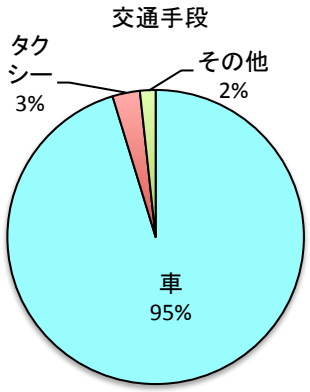
救急車を 呼ぶ

- 下痢に伴って、けいれんが見られたら救急車を呼んでください。

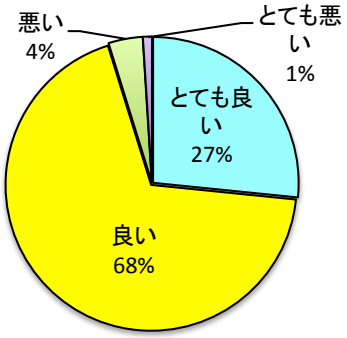
急患診療センター 窓口アンケート結果について

当センターでは、毎年受診患者さんにアンケートを実施し、急患診療の質の向上に努めています。昨年度の結果の一部を掲載しました。今後のアンケートへのご協力をお願いします。救急疾患検索サイトをご覧になっている方はまだ少ないですが、役に立つと思いますので是非ご覧下さい。

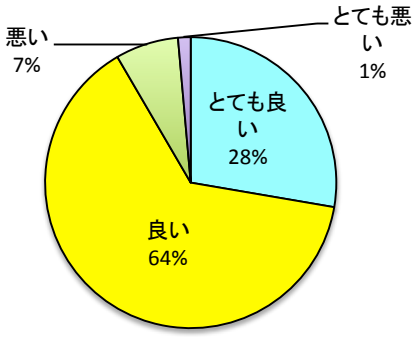




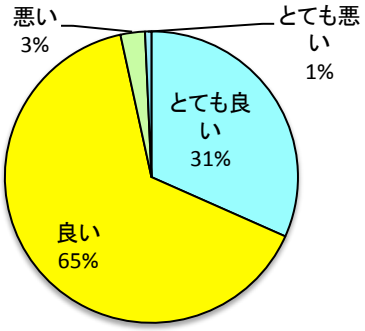
全体の満足度



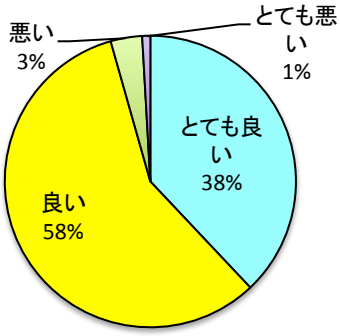
診療が終わるまでの時間



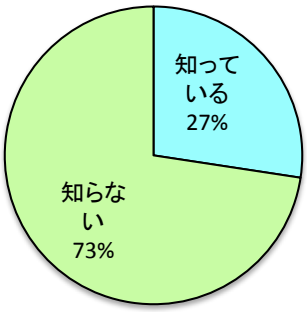
受付・会計の対応



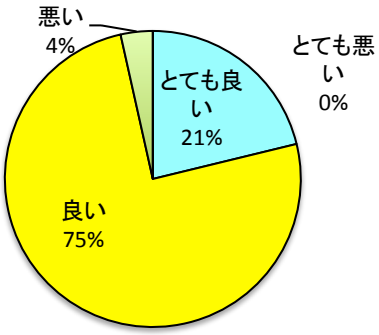
医師・看護師・薬剤師の対応



急患診療センターのホームページ



ホームページ内の救急疾患検索サイト



Ｑ＆Ａ　（質問に答えて）

Ｑ１：かかりつけ医の医療機関から処方されている糖尿病の薬が足りないことに気付きました。休日なので急患診療センターで不足の薬を出してもらえますか？

Ａ１：急患診療センターの役割上、急患診療センター内の薬局には、「応急治療に必要な薬剤」のみを置いてあり、慢性疾患である糖尿病の内服薬やインスリン製剤・器具の在庫は置いていません。また、院外処方せんも発行していません。糖尿病に限らず、かかりつけ医から処方されている薬剤は、不足しないよう十分注意して下さい。

Ｑ２：土曜日の夕方転倒し、手首の骨折が心配で、「外科」の診療時間に急患診療センターを受診しましたが、市内の整形外科クリニックを受診するよう言われました。外科では診てくれないのですか？

Ａ２：土曜日午後３時～１０時は、「外科」は急患診療センターで、「整形外科」は開業医が在宅当番医として医院（クリニック）で診療をしています。傷の縫合処置などは外科で行いますが、骨折の疑いなどは整形外科の在宅当番医での専門的診療をお勧めしています。「整形外科」の在宅当番医は毎回替わりますが、新潟日報（土曜日）朝刊の紙面、ホームページでは「新潟医療情報ネットの当番医案内」に掲載されています。当センターの電話相談（025-246-1199）でもお知らせしています。
土曜日午後１０時以後は、急患診療センターで「整形外科」の診療を行っています。

Ｑ３：保険証がなくても受診は可能ですか？　また、支払にクレジットカードは使えますか？

Ａ３：急病やけがの場合、保険証やお金の用意が足りなくても受診可能です。保険証を持参しない場合は、一旦窓口で全額お支払いいただき、後日領収書・保険証を持参の上精算して下さい。お金が不足の場合も同様で、診察終了後受付で精算のご案内をさせていただきます。クレジットカードは使用できません。

診療時間

★土曜日午後3時～10時の「整形外科」は在宅当番医となります。（Q&Aをご覧下さい）

診療科目	診療日	診療時間
内科 小児科	平日	午後７時～翌日午前７時 （受付時間：午後７時～翌日午前６時３０分）
	土曜	午後２時～翌日午前９時 （受付時間：午後２時～翌日午前９時）
	日曜・祝日	午前９時～翌日午前７時 （受付時間：午前９時～翌日午前６時３０分）
整形外科	平日	午後７時～午後１０時 （受付時間：午後７時～午後９時３０分）
	土曜	午後１０時～翌日午前９時 （受付時間：午後１０時～翌日午前９時）
	日曜・祝日	午前９時～午後１０時 （受付時間：午前９時～午後９時３０分）
外科	平日	診察はしておりません
	土曜	午後３時～午後１０時 （受付時間：午後３時～午後９時３０分）
	日曜・祝日	診察はしておりません
産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 脳外科	平日	診察はしておりません
	土曜	診察はしておりません
	日曜・祝日	午前９時～午後６時 （受付時間：午前９時～午後５時３０分）

＜急患診療センターの理念＞

市民と共に
市民に信頼される
救急医療の継続提供をめざします

＜理念の説明＞

① 市民の理解と協力、支援により円滑な運営が可能になります
② 職員は、質の高い急患診療を提供できるよう努力いたします
③ 超高齢社会、医師不足のなか、診療体制の維持継続を行うことが必要です

あとがき

これから寒くなると風邪やインフルエンザ、ウイルス性胃腸炎の時期になります。体調管理と手洗いの徹底を行い、お元気でお過ごし下さい。

新潟市急患診療センター
ホームページ　http://www.niigata-er.org

新潟市医師会による救急疾患検索サイト
http://www.niigata-er.org/search/

発行：新潟市急患診療センター
〒950-0914新潟市中央区紫竹山
3丁目3番11号
TEL 025-246-1199